

市民展示・環境学習施設展示(一般公開・無料)

市民展示 Web 掲載

9月16日(水)～18日(金) Web 掲載

URL: <https://jsmcwm.or.jp/taikai2020/exhibition1/>

(主催:廃棄物資源循環利用のための市民講座実行委員会)

(共催:実行委員会)

市民展示では、北海道やその他の地域で、環境活動・環境教育活動を実施する市民団体 10 団体によって、廃棄物を出さないようにする取り組みや、今話題のプラスチック問題への取り組み、生ごみのエネルギー化や液肥利用の資源循環の取り組み等について展示紹介します。

Web 開催に変更になってしまいましたが、各団体の紹介が多数行われる予定ですので、当学会会員・非会員に関わらず多くの皆様にぜひ Web サイトをご閲覧頂き、情報交換や交流の場としていただければ幸いです。

展示団体名と企画内容

	出展団体・施設名	活動概要
①	特定非営利活動法人 ezorock https://www.ezorock.org/	環境対策活動「Earth Care」プロジェクトでは、野外ロックフェスにおける環境対策活動をはじめ、海のプラスチック問題、生ごみから堆肥をつくり、翌年のフェスティバルの食材として還元する取り組みを展開しています。
②	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず https://refriends.jimdofree.com/	資源・エネルギーの循環と浪費の抑制を図り「循環型社会」を創るために、ごみ減量に関わる様々な事業を行っています。
③	特定非営利活動法人 北のごみ総合研究所 https://kitagomis.jimdofree.com/	北海道で暮らすひとり一人が身近な“ごみ問題”に関心をもち、自然と共生できる社会を目指すため廃棄物に関する調査・研究活動を行っています
④	ごみ減量実践活動ネットワーク http://www.city.sapporo.jp/seiso/slimnet/index2.html	市民・事業者・行政が一体となって、ごみ減量活動を推進していく枠組みとして平成 17 年 3 月に設立されました。家庭の生ごみ減量を始め、環境教育講座、フォーラム等の普及啓発活動に取り組んでいます。
⑤	札幌市資源リサイクル事業協同組合 https://sapporoshigen.jimdofree.com/	札幌市資源リサイクル事業協同組合は、札幌市内の資源回収業者 37 社とメーカー 1 社により構成し、資源の有効利用と廃棄物の削減に取り組んでいます。
⑥	全国友の会 北海道部 http://www.zentomo.jp	1930 年 羽仁もと子を中心に『婦人之友』の愛読者によって誕生した団体で、「よい社会はよい家庭から」をモットーに、衣・食・住(環境含む)・家庭経済・子どものこと等、各々の生活を材料に学び合い活動しています。
⑦	北海道紙パック会 http://www.corelex.co.jp/dohei/milkcarton.html	1987 年に牛乳パックのリサイクルを通じ「使い捨て社会を見直し、物を大切にしましょう」を提唱し、紙パックの回収運動を進めています。
⑧	北海道容器包装の簡素化を進める連絡会 https://yokihoso.jimdofree.com/	容器包装の簡素化を進め、循環型社会の実現と地域環境の保全を図ることを目的とし、これに賛同し一緒に行動できる参加団体が連携し、活動をしています。
⑨	特定非営利活動法人北海道海濱美化を進める會 http://www.hamabika.org/umi	当会は 20 年間「海！命の故郷～北海道の海辺を日本一美しく」をスローガンに、海浜清掃活動や冬は勉強会等を行ってきました。在北海道の日本国籍以外の人々や住民、自治体とも協働して、より良い自然環境を残したいと細かいプラスチックなども根気よく回収しています。
⑩	リサイクルプラザ宮の沢 http://www.sapporo530.or.jp/	リサイクルプラザ宮の沢は、ごみ減量と不用品の有効活用、リサイクル意識の普及向上を目指す活動拠点です。

⑪	一般社団法人 持続可能環境センター https://www.3r-teitanso.jp/	残念ながら、新型コロナウイルスの影響で第13回3R・低炭素社会検定は中止します。新しいテキストは10月初旬に店頭に並ぶ予定です。無料動画講座も配信予定です。
⑫	廃棄物資源循環学会 消費者市民研究部会 https://jsmcwm.or.jp/citizens/	市民生活、市民活動の中から見えてくる廃棄物・資源循環の課題について市民と研究者が一緒に考え、情報発信することを目指しています。今年の研究発表会では食品ロスについて市民フォーラムを開催します。

環境学習施設展示

9月16日(水)～18日(金) Web掲載

URL: <https://e-ed.jp/2020/index.html>

(実行委員会/環境学習施設部会)



本研究部会は、発足時から、全国のごみ焼却施設やリサイクルプラザ、リサイクルセンターなどにある環境学習施設等をネットワークし、知識や経験を共有するとともに、その効果の検証や運営の評価方法を検討しています。

2020年度は、テーマを「温故知新」とし、新しい施設のみさんの運営と施設運営10年前後のベテランの運営、それぞれにおける運営ノウハウや課題を、この一年間でとりあげ、運営手法から人材育成・地域連携に至るまで、様々な角度から施設運営についての議論を深めたいと考えていましたが、コロナ禍により、本研究部会のテーマを変更し、「施設のコロナ感染対策」として、環境学習施設におけるコロナへの対応策などをご紹介します展示としています。

環境学習施設展示出展団体：(五十音順)

- ・京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」
- ・国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」
- ・札幌市リサイクルプラザ
- ・多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター「エコにこセンター」
- ・豊中市伊丹市クリーンランド
- ・耳納クリーンステーション 耳納ねっと！再生工房
- ・京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）
- ・八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」